



しまねUIターン情報誌 ビーンズ

Beans

October 2024

Vol.

68

しまね移住の先輩インタビュー

Just right!

しまねで見つけた、わたしの

「ちょうどいい」



アンケートに回答して
抽選で当てよう!

しまねの特産品
プレゼント

だったんそばの実
ドレッシング



しまね田舎ツーリズム体験
ライフスタイルブロガーが行く!
田舎ツーリズムレポート

しまねの教育事情をセキララに紐解く
しまね教育白書

選んだ道を、正解にする

人生は選択の繰り返し

歩いて行こうがバスで行こうが

焼肉定食にしようがアジフライ定食にしようが

現金にしようがキャッシュレスにしようが

選択肢そのものには正解はない、不正解もない

自分で選んだものを正解にしていく

それが、あなたらしく生きていくということ

移住も、人生の大きな選択のひとつ

どこで暮らしたって、どのように暮らしたってあなたはあなた

後悔することがあるかもしれない

嫌なことだって起こるかもしれない

それでも、島根で暮らす喜びがたくさんあります

ここでの暮らしがどれだけ楽しいか、あなたに知ってほしい

都市へ歩みを進める足音が大きく聞こえる

でも、選択肢や正解はひとつじゃない

あなたらしさを、島根で見つけませんか

「しまね移住」という選択を、正解にしませんか

私たち、ふるさと島根定住財団は

あなたの選択をできる限りサポートします

さあ、はじめの一步はこちらから

写真：知夫村・赤ハゲ山展望台

知夫里島の西側に位置する島内で最も高い赤ハゲ山。標高325mの頂上にある展望台からは360度の大パノラマを楽しめる。世界的に珍しいカルデラ湾に浮かぶ隠岐の島々、遠くの島根半島や大山まで見渡すことができる。

しまねUIターン情報誌
ビーンズ

Beans
Vol. 68
October 2024

CONTENTS

- 02 選んだ道を、正解にする
- 04 移住の先輩インタビュー
しまねで見つけた、
わたしの「ちょうどいい」
 - 06 小野寺 大 さん
 - 08 名原 葉 さん
 - 10 岡田 紗和 さん
 - 12 山村 朋弘 さん
- 14 UIターンしまね産業体験
- 15 しまね移住 STEP BY STEP
- 20 ライフスタイルプロガーが行く!
しまね田舎ツーリズムレポート
- 24 しまね教育白書
- 28 心で読む求人票
- 30 しまね移住
おもしろエピソード
- 31 アンケート・プレゼント



Episode 03

岡田 紗和 さん
#夫婦ふたり
#知夫村 #1ターン



Episode 04 | 山村 朋弘 さん
#両親と同居 #津和野町 #Uターン

Episode 01

小野寺 大 さん
#4人家族 #益田市 #1ターン



しまねで見つけた、 わたしの「ちょうどいい」

移住の先輩インタビュー

移住のきっかけは人によってさまざま。島根で暮らすまでのこと、移住してからのこと。しまねで見つけることのできた、「ちょうどいい」を教えてください。

Just right!

Episode 02

名原 葉 さん
#祖母と同居
#雲南市 #Uターン



01 Episode

島根で手に入れた「ふつう」の家族の光景 その「ふつう」こそかけがえのない宝物



おのゝ だい
小野寺 大さん
益田市 ◀◀◀ 東京都
#4人家族 #1ターン

取材動画は、YouTube
チャンネル「しまね移住
project」にて公開中!



移住 タイムライン Timeline

- 22歳 東京都原宿のスニーカーショップに就職。
- 31歳 佳恵さんと結婚。長女が誕生。
- 33歳 長男が誕生。
- 35歳 東京都町田市に一戸建てを購入。
- 39歳 妻が益田市に遊びに行ったことをきっかけに、移住を考え始める。
- 40歳 移住完了。

京都に生まれ育った小野寺大さんは、大学卒業後に東京・原宿にあるスニーカーショップに就職。東京で暮らす中で、妻・佳恵さんと出逢い結婚。一女一男をもうけ、不動産会社の営業に転職。身を粉にして、これまで以上に仕事へ向き合う日々を送るが、家族となかなか顔を合わせられず、休日は週1日程度。家族とのコミュニケーションはままならなかった。

ある時、佳恵さんが親類の住む益田市へ遊びに行くことがあった。佳恵さんから送られてくる島根の風景と子どもたちの写真を見て、「いいところだな」と島根に魅せられた。帰ってきた佳恵さんから「島根へ移住したい」という言葉を聞き、大さんも本気で移住を考え始めた。

移住 Before After	
After	Before
居住地 島根県益田市	居住地 東京都町田市
職業 造園業	職業 不動産営業
間取り 7SLDK	間取り 4LDK
趣味 アウトドア遊び	趣味 特になし

移住検討スタート

家族のためと仕事に打ち込んできた。しかし、その働き方が妻や子どもたちとの時間を減らしてしまっていることへのジレンマを抱えていた。

また、住環境にも思うところがあったという。都心でなくとも住宅の密集するエリア。家と家の距離が近く、気を使わなければならないことも多かった。

妻がきっかけで検討開始
真剣に考える自分がいた

佳恵さんの母親が益田市出身で今も親族が住んでおり、10年ぶりに子どもたちを連れて遊びに行ったところ、環境の良さに心奪われ、移住への情熱が一気に高まった。もともと夫婦の間で場所を決めずに移住したいという話をしていたが、気付けば佳恵さんよりも島根移住に本気になっている自分がいた。「仕事が決まったら移住しよう」。そう決めた大さんは、定住財団にコンタクトを取って転職活動を開始。現在の造園会社を紹介されて無事仕事が決まった。同時期に中古の住宅と出会い、購入。着々と移住の準備を進めていったという。



小野寺さんがしまねで見つけた

「ちょうどいい」

大さんいわく、そこに住まう人の密度が「ちょうどいい」とのこと。

東京での暮らしが長く、一時期は都心部に住んでいたこともあって、常に人の多さ、密度の濃さが気になっていた。その点、益田市は自身が落ち着ける人の密度だと感じているという。佳恵さんも同じように感じており、「息の詰まりそうな感覚がなくなった」と大さんに話しているそう。

また、益田という街での暮らしにおける「ほどよさ」を挙げる。例えば、飲食店ひとつとっても東京では選択肢が多すぎる。決めた店に入ろうにも数時間待たされることもある。

「それで1日が潰れてしまうのはもったいないですよ。ほどよい数の選択肢から選んで、有意義に時間を使えるのが良い。益田という街はとても過ごしやすいところですね(大さん)」

そして、環境の良さにも満足している。壮大な自然に囲まれ、空気は美味しく、ただ歩いていても目にするものが綺麗で楽しい。近所の川や海で遊ぶことを含め、ほどよい娯楽感もちょうどいいものだという。



家で過ごす時間はいつも深夜にひとりきり。そんなライフスタイルが大きく変わり、家族と時間を共有できる暮らしになった。子どもたちはそれぞれ好きなことをしつつも、みんなが同じ空間で過ごし、子どもの成長を間近で見守ることができるようになった。「ふつうの家族の光景」を手に入れたことが、何物にも代えがたい」と、時折恥ずかしそうに、しかしとても嬉しそうに大さんは語った。

Life Style



家族と過ごせることが幸せ



移住前に 小野寺さんが 悩んだこと



佳恵さんも育児や家事のみならず、フリーランスとして働き、常に時間に追われる日々。

ちよっと出掛けるにも、人混みをかき分けていかなければならず、暮らすことと疲れることがイコールな生活に悩む佳恵さんの姿を見ることも辛かったそうだ。

小野寺さんが利用した支援

UIターン無料職業紹介

県外在住で島根県へのUIターンを考える人の就職を、経験豊富な職業紹介担当スタッフがサポートします。ご希望に合った最適な転職先の提案はもちろんのこと、会社見学や選考の調整なども行い、希望される企業との縁をつなぎます。まずは「しまね登録」からどうぞ。 ※無料職業紹介は社会人向けサービスです。現在学生の方は対象となりません。

◀ P.17をチェック!



憧れの「東京暮らし」を手放して得られた自分らしさと自然のある暮らし

出雲神話の舞台としても知られる雲南市に生まれ、高校時代まで育った名原さん。

東京への憧れから都内の大学を選んだ。雑誌やテレビで観た店へ出かけたり、流行りのグルメを味わったりと東京暮らしを満喫。大学卒業後は、都心に本社を構える企業に就職し、社会人として意欲的に仕事をこなす日々を過ごしてきた。

だが、20代終盤になると、仕事優先でプライベートを置き去りにしていると感じ始める。仕事に不満はなかったが、同僚たちの東京にこだわらない暮らしぶりを耳にし、自分の時間を大事にできる暮らしをしたいと思うようになり、故郷へのUターンを考えはじめた。



なばら しおり
名原 菜さん

雲南市 ◀◀◀ 東京都
#祖母と同居 #Uターン

取材動画は、YouTubeチャンネル「しまね移住project」にて公開中!



移住 Before After

移住後	移住前
居住地 島根県雲南市	居住地 東京都杉並区
職業 製造業	職業 不動産業
間取り 3LDK	間取り 1K
趣味 ドライブ・温泉・読書	趣味 食べ歩き・古着屋巡り・散歩

移住タイムライン

- 18歳 雲南市に生まれる。
- 18歳 大学進学を機に東京へ。
- 22歳 大学卒業後、都内の企業に就職。営業職に就き、社会人生活を送り始める。
- 28歳 システム系の仕事に転職。
- 30歳 Uターンを決意。家族や親族に帰ることを相談すると、応援してくれたのがとても心強かった。



「東京にすぐ憧れていました」という名原さん。念願叶い、始まった都会の生活。憧れに手が届き、ただ嬉しかった。大学を出て都心の企業に就職し、人間関係にも恵まれて仕事は楽しく、頑張ろうと思っただけになった。

移住前に悩んだこと



徐々に新鮮さが失われた都会の生活。このまま歳を重ねる先に、疲れ果てた自分の姿が思い浮かぶようになってしまった。「東京で暮らすことを、今の私は本当に望んでいるか。そう自問するようになり、だんだんとUターンへ気持ちが傾いていった。」

移住検討スタート 難しい遠隔の仕事探し 定住財団のサポートで一気に進展が

東京に対する憧れに固執していたと気づき、本格的に故郷へ帰ることを決心。家族に相談し、当面は実家で暮らすことにした。Uターン前に東京から島根の転職先を転職サイト等で探したがあまり見つけれず、正直働く場所があるかどうか不安だったという。



雲南市へ戻って仕事を本格的に探す中、母親経由で定住財団の「Uターン無料職業紹介」を知り、早速申し込んでオンライン面談を受けたところ、抱えていた不安が解消された。その後、現在の医療機器製造の会社へ転職を果たすことができたという。

「ちよūdōいい」 名原さんがしまねで見つけた

もともと理由なく海が好きという名原さん。海を見るだけで元気になるが、東京では生活の近くに海がなかった。普段からビルに囲まれた都心で仕事をし、ギョッと詰め込まれたような住宅街で暮らしていると、海がとても遠い存在のように思えてならなかった。

しかし島根へUターンしてみると、少し車を走らせた先に日本海が広がっている。自身の生活圏から海まで気軽に行くことのできる距離感は、とてもちよūdōよいものだと感じているという。メインの移動手段が車となったことで、思い立ったらハンドルを握って海まで車を走らせ、海風を感じながら水平線の先に沈む夕日を眺められる。

少し疲れを感じたとき、思い切り自然の空気を吸い込みたいとき。ほんの少し足を伸ばすだけで大好きな海がそこにある。

とても些細なことかもしれないが、そうした暮らしができることに喜びを感じる。「島根へ帰ってきて良かった」と、満足そうに話してくれた。



思い描く暮らしをひとつずつ実現

自分のしたいことをする、丁寧な暮らしをするといったことが少しずつできるようになったことがとても嬉しいという名原さん。



Life Style



違和感が新しい一歩の きっかけに... 夫婦で作る離島の物語



おかだ さわ
岡田 紗和 さん

岡田ご夫妻(モミイチさん・紗和さん)

知夫村 ◀◀◀ 岡山県
#夫婦ふたり #1ター



取材動画は、YouTube
チャンネル「しまね移住
project」にて公開中!



岡山県倉敷市にあるワイナリーで、ぶどうの栽培やワインの醸造に携わってきた岡田紗和さん。倉敷での暮らしは仕事も楽しく、休日は友人たちとサイクリングやランニングに興じ、趣味の山登りを楽しみ、快適で充実したものだ。しかし、3年目に入った頃、代わり映えのない日々や人との関わり方に疑問を感じるようになった。

兵庫県丹波篠山市で生まれ育った紗和さんは、将来故郷のような山や田畑が広がる田舎で暮らしたい思いがあった。それに加え、野菜を作るところから食べてもらうところまで一貫してできる農業をやってみたい気持ちもあり、移住という選択肢を意識し始める。

移住 Before After

移住前		移住後	
居住地	岡山県倉敷市	居住地	島根県知夫村
職業	会社員	職業	自営業
間取り	1K	間取り	一軒家(5LDK)
趣味	ランニング・登山・温泉	趣味	仕事

移住 タイムライン

- 18歳 生まれ故郷である兵庫県丹波篠山市を離れ、岡山県へ。
- 22歳 大学卒業後、岡山県倉敷市でワイナリーに就職。
- 24歳 公私ともに充実はしていたが、ぼんやりと移住を考え始める。
- 25歳 移住準備で知夫村役場へ行った際、地域おこし協力隊としての移住を提案され、「島おこし隊」に応募。
- 26歳 島おこし隊のメンバーとして知夫里島に移住完了。
- 27歳 チャレンジしたかった農業を知夫里島でスタート。耕作放棄地を開墾、多品目少量栽培の農園(ITADAKI FARM)を開く。同年10月モミイチさんとフレンチレストラン Chez sawa(シエ・サワ)をオープン。



休日は友人たちと身体を動かす趣味を楽しむなど、移住前のプライベートは充実していたという紗和さん。ワイナリーの仕事も本当に好きで楽しみながら取り組んでいた。

しかし、紗和さんの中で変化が起きる。「平日は会社と家の往復ばかり」「隣近所とコミュニケーションすらない」という生活に疑問を感じるようになったのだ。

移住前に 岡田さんが 悩んだこと



休日の過ごし方、仕事への向き合い方や気持ちの変化はなかったが、潜在意識の中で停滞感のようなものを感じていたのかもしれない。

また、ワイナリーでぶどう栽培の経験を積んだことで、やりたいことが見えてきたのも大きかった。「いつかは田舎に住みたい」という漠然とした想いがだんだんと膨らみ、場所は決まらないまでも移住しようという気持ちが強まっていった。

移住検討スタート

「一緒に来てほしい」
パートナーの一言から
本格的に移住を意識

田舎で暮らしたい気持ちが大きくなったことで移住を考えるようになったが、具体的な検討を始めたのは、パートナーのモミイチさんと出逢ってからだ。

海外をはじめ国内各地のフレンチレストランやリゾートホテルの料理長として活躍してきたモミイチさんが知夫里島を訪れた際、「ここを自らのレストランディングにしたい。移住して一から作り上げるオンリーワンのレストランをやりたい」という夢があることを伝えられた。そして彼から「島と一緒にやろう」と誘われた。「オンリーワン」という言葉と、彼が抱く夢に惹かれる。やりたいう農業を実現する機会でもある。紗和さんは移住を真剣に考え始めた。



岡田さんが利用した支援

交通費(片道)助成制度

「くらしまねっと」などに、求人情報を掲載している企業への会社見学や採用面接等によって来県する場合、居住する場所からの交通費(片道分)助成を受けることができます。

※上限2万円、年度内2回まで
※交通費を支払ったことがわかる書類(領収書等)が必要です。

◀ P.15をチェック!

岡田さんがしまねで見つけた

「ちょうどいい」

パートナーに誘われ、タイミングと若さ、そして勢い半分で移住を決めた紗和さん。移住のために、何度か知夫里島を訪れ、島の人たちと関わりを紡ぐ中で見えてきたのが「精神的な距離感の絶妙さ」。

離島という環境は県外どころか県内でも物理的な距離がある場所だ。だが人と人との距離感はなくともちょうどいいそう。モミイチさんいわく「レスポンスの良さもいい」とのこと。

紗和さんは地域おこしの活動をしてきたため、さまざまなことにチャレンジする機会が多かったが、それらにもしつくりくる距離感で関わってくださる人が多く、とてもやりやすく感じていたと振り返る。

「隠岐諸島の中で最も素朴で、良い意味でも何もないのが知夫里島(紗和さん)。そんな場所だからこそ、自分たちがやりたい「つくること」に対し、貪欲にチャレンジし続け、多くの人に助けられながら二人で手を取り合い、大きくなっていく夢に向かって進んでいく。「知夫里島での暮らしすべてが自分たちにとって『ちょうどいい』ものなんですよ」。紗和さんとモミイチさんは笑顔でそう教えてくれた。



ライフスタイルの変容

移住前と違って自営業となったことで、大きく暮らしが変わった。以前であれば仕事は仕事、休みは休みと明確に分かれていたが、離島という環境も手伝って、仕事も含めたすべてが「島暮らし」の感覚に変わったそう。境界線が曖昧になったことで大変なことも多いが、それを苦労だとは全く思わず、日々を楽しむスパイスのようなものだという。



Life Style





声優、インストラクターを経て、故郷で育てる「ちょうどいい」暮らし



やまむら ともひろ
山村 朋弘 さん
 津和野町 ◀◀◀ 大阪府
 #両親と同居 #Uターン

取材動画は、YouTube
 チャンネル「しまね移住
 project」にて公開中!



移住 タイムライン

Timeline

18歳 津和野町に生まれる。

20歳 専門学校進学のため大阪へ。

26歳 卒業後、声優事務所へ所属。

35歳 声優事務所を辞め、スポーツクラブに転職。スイミングインストラクターとして子どもに水泳を教える。

33歳 新型コロナウイルス感染症の影響で在籍するスポーツクラブの支店が閉鎖し退職。コロナ禍で将来について考えたとき、地元へ帰るといふ選択が浮かぶ。

35歳 津和野町へUターンし、「Uターンしまね産業体験」を知る。

産業体験から研修を経て農家として独立。

35歳 菊、タラの芽等の栽培を行う農家を続けるかたわら、経歴を活かして声に関連する仕事をスタート。



スポーツクラブの支店が閉まることになり、別支店への異動も打診された山村さん。だが、世の中がコロナによって大きく動いていた時期。ニューノーマルという言葉が生まれ、働き方や暮らし方の変容もあって、「本当にこのまま大阪にいるべきだろうか」と思うようになったという。

移住前に 山村さんが 悩んだこと



そう考えているうち、実家のある島根のことが気になり始めた。大阪へ残るか、それとも故郷の島根に帰るか。積み上げてきた暮らしをリセットすることに、少なからず恐れはあったものの「実家に帰りたい」という想いが勝り、異動の話も丁寧に断って、気持ちの向くまま故郷・津和野町へ帰ることを決めた。

仕事探しスタート

新しいことに挑戦したい気持ちから「Uターンしまね産業体験」に参加

生まれ育った津和野町へUターンすることを決めたものの、その時点ではまだ仕事も何も決まっていなかった。住める家があるからこそ転職の不安はほとんどなかった。



Uターン後「何をしようか」と考え、津和野町での仕事を調べる中で農業に興味を持つ。持ち前のチャレンジ精神から「やったことのないことをやってみよう」と思うものの、どうしたらよいかかわからない。津和野町役場農林課へ相談に行くこと、ふるさと島根定住財団を紹介され「Uターンしまね産業体験」のことを知る。

山村さんが利用した支援

Uターンしまね産業体験

Uターンし、農業・林業・漁業・介護・伝統工芸等の産業を体験する場合、滞在に要する経費の一部を助成する制度。受入先から直接指導してもらい、知識のみならず技術も学ぶことができます。マッチングから体験期間中の相談まで、定住財団も細やかにフォローします。

◀ P.14をチェック!

山村さんがしまねで見つけた

「ちょうどいい」

「大阪へ出たのもUターンしたのも思いつき」だという山村さん。そんな思いがあったからか、故郷を離れていた期間の長さが、「帰ってからは馴染めるのか」という不安になった。しかしいざ帰ってみれば、昔からの友人たちは県外へ出る前と何ら変わらなかった。そんな心の距離感が、なんとも心地よくちょうどいいものだと思えた。

ただ、山村さんはこう言う。「ちょうどいいって見つけるよりも自分でつくるもの」。そこにあるものや環境から享受するだけでなく、自ら動いて、自らがちょうどいいと思える状況を作っていくことが大事だと考えているようだ。Uターンして農業をはじめたが、それ以外にやりたいことを少しずつ増やしており、最近では益田市の音響会社と一緒に、声を使いたい人へと向けたワークショップをスタートしている。

自身の菊栽培になぞらえて「種を蒔いて育ててもどんな形の花になるかわからないじゃないですか。それと同じでやりたいことの種を蒔いた先がどうなるかはわかりません。でもきれいな花になるように、これからも自分のペースで進めていきたい」と話してくれた。



移動手段の大きな変化

Uターン前と比べて最も大きな変化が「移動手段」。車での移動がメインになり、仕事はもちろん、買い物などにも車が必要になった。それに伴って関連する費用が増えたという。

また、山村さんは「生ビールを飲む機会が減った」と残念そうにしながらも、以前より飲酒の機会が格段に減ったことで、「ずいぶん健康的な身体になりました」と嬉しそうに笑った。



Life Style



しまね
移住

STEP BY STEP

「島根に住みたい。島根で働きたい。でもどうしたらいいの?」というあなたのために、
移住のためにやるべきことをステップ方式でご紹介。移住前のおトクな制度、
移住に際しての相談や支援に体験、仕事探しから移住決定後のことまで、まるっとわかります!



登録完了

登録が完了すると、イベントの案内や移住情報
などをお伝えするメルマガを受信できます!

8つのメリット

- ① 職業紹介スタッフが就職活動をサポート
- ② 企業からのスカウトサービスが利用可能
- ③ 気になる求人をストック・応募できる
- ④ 希望条件に沿った求人をリコメンド
- ⑤ 移住関連イベントにサイトから申込可能
- ⑥ しまね移住情報をメール、冊子、LINEでお届け
- ⑦ 企業担当者とオンライン面接ができる
- ⑧ 気になる企業に「つながる」ボタンでアプローチ

※⑦⑧はくらしまねっとのみ

STEP 01 情報収集する

まずは「しまね登録」から!

「しまね登録」とは、Uターン希望者向けの「くらしまねっと」、
「Uターン無料職業紹介」、学生・若年者向けの「ジョブカ
フェしまね」、学生向けの「しまね学生登録」の4サービス共
通会員登録のこと。サービスや制度の中から属性に合わせ
て利用することができます。

- 1 「くらしまねっと」にアクセス
- 2 サイト内の【しまね登録はこちら】をクリック!
- 3 サービス等を選択し、氏名などの基本情報を入力
- 4 仮登録メールが届くので、メールに
記載されるURLへアクセス

POINT
02 見学・面接時に来県するとき
交通費(片道)の助成

「くらしまねっと」などに、求人情報を掲載している企業への会社
見学や採用面接等によって来県する場合、居住する場所から
企業までの交通費(片道分)助成を受けることができます。

対象者

「しまね登録」し、以下の①②を満たしている方

- ① 基本情報の必須項目を入力している
- ② WEB履歴書の必須項目を入力している

※上限2万円、年度内2回まで

※交通費を支払ったことがわかる書類(領収書等)が必要です

POINT
03 最大30%OFF!
引越し割引サービス

県外から島根県内への移住が具体的に決まったら、ふるさと島根
定住財団を通して引越し業者へ見積もりを依頼しましょう。
引越しにかかる費用が最大30%割引となります。

対象者

「しまね登録」し、基本情報の必須項目を入力した方
※ご自身で直接引越し業者へ見積もり依頼した後
のお申込みは不可となります。ご注意ください。



さ・ら・に

「しまね登録」
3大特典も!!POINT
01 いろいろ割引・特典アリ!
U・Iターン応援カード

「いつか島根にU・Iターンしたい」。
そう思うあなたを応援するカードです。島根県内の協賛店で提示す
ると、レンタカー代金や宿泊費、賃貸物件の手数料などをはじめ、
数多くの各種割引や特典サービスを受けられます。

対象者

「しまね登録」し、基本情報の必須項目を入力し、
以下①②③のいずれかに当てはまる方

- ① 島根県外に在住しUターンを考えている
- ② 18歳以上の学生(県内在住の学生も含む)
※既卒者は対象外
- ③ 島根県にUターンして1年以内である

LINE版
応援カードもあります!

Uターンしまね
産業体験

産業体験とは、島根にUターン・Iターンし、農業・林業・漁業・介護・伝統工芸等の
産業を体験する場合に、滞在に要する経費の一部を助成する制度です。



こんな人にオススメです

- ✓ 第一次産業に興味アリ!
- ✓ 働き方・生き方を変えたい
- ✓ これまで身に付けたスキルを
活かして異分野でチャレンジしたい



- ✓ いきなり移住だと仕事か
心配...
- ✓ なんだか島根県が気になる...

制度の概要

対象	県外在住のUターン希望者
対象業種	農業・林業・漁業・介護・伝統工芸等
助成期間	3ヶ月以上1年以内 ※伝統工芸は3ヶ月以上2年以内
体験者助成額	12万円/月 ※ただし、以下の場合は6万円/月 ①島根県内に居住する父母または祖父母と同居の場合 ②二親等以内の親族が受入先となり体験する場合 ③伝統工芸の2年目
親子連れ助成額	3万円/月(中学生以下/1世帯につき) ※体験者助成に上乗せして支給

※体験中止により体験期間が3ヶ月に満たない場合は、1ヶ月あたり3万
円となります。体験が1ヶ月に満たない場合は、助成金の支給なしとな
ります。

※助成金は3ヶ月ごとの支給となります。

その他、認定するのに一定の条件があります。詳しくはふるさと島根定住
財団のUターン推進課までお問合せください。

◆ 産業体験後に利用可能な支援制度 ◆

産業体験が終了したあと、そのまま就業できるケースもありますが、別
の支援制度を利用して支援を受けながら、さらに実践経験を積むこと
ができます。条件等によってご利用できない場合があるので、事業の詳
細は各機関にお問合せください。

産業体験の魅力 01

万全のサポート体制

当財団のスタッフが体験希望者のご要望を丁寧にヒア
リング。受入先とのマッチングから体験期間中の相談ま
で、きめ細かくフォローアップいたします。

産業体験の魅力 02

実践者による指導あり

それぞれの分野で事業を展開している経験者の指導を
受けながら、1年間体験していただきます。現場で知識
のみならず技術もしっかり学べるチャンスです。

産業体験の魅力 03

滞在費を一部助成

支給要件を満たした方を対象に、月額12万円の体験者
助成金を支給いたします。

さらに中学生以下の親子連れ体験なら、1世帯あたり3万
円の親子連れ助成金が加算されます。

POINT
島根は支援の層が厚い!

島根県内の各市町村の中には、独自で上乗
せ助成等支援メニューを用意する自治体も。
支援内容や条件等が異なるので、詳しくは各
自治体までお問合せください。

しまね産業体験 検索

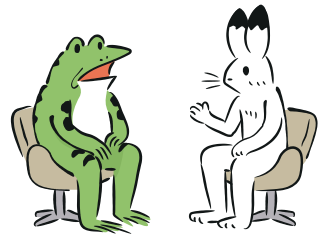
<https://www.kurashimanet.jp/sangyou-taiken/>



STEP 02 相談する

窓口やオンラインで移住相談

気になることは相談してみよう!



移住を検討するための情報収集ができれば、続いてリアルな声や、リアルな事情を知りたいと思うもの。そこでおすすめしたいのが移住相談。

ふるさと島根定住財団では、島根県内の松江、浜田に加え、東京、大阪、広島にUIターン相談窓口を開設しているほか、オンラインでも個別相談を受け付けています。

事前に予約していただくことで、ご自宅等インターネット環境が整ったところから、相談員と直接お話いただけます。移住に関する疑問や、移住を検討するエリアのこと、仕事についてなど、移住のあらゆることをご相談いただけますので、お気軽にお申し込みください。

移住相談窓口情報は裏表紙をチェック!

オンライン移住相談の流れ

- 1 オンライン移住個別相談のページへアクセス
- 2 必要事項を入力・送信
- 3 自動案内メールが届く
- 4 相談日時になったらメール記載のURLにアクセス

くらしまねっと 個別相談 検索

https://www.kurashimanet.jp/soudan/online_soudan.html



平日の昼間はお仕事等で相談が難しい方は 夜間や土曜日にも相談可能

- ◆ 毎月第3週の水曜日 オンライン夜間相談を実施
- ◆ 毎月第4週の水曜日 東京窓口で夜間相談を実施
- ◆ その他、大阪・広島事務所でも土曜日に相談を実施しています。

くらしまねっとイベントページをご確認ください。



しまね移住情報ポータルサイト くらしまねっと



「くらしまねっと」とは?

「くらしまねっと」は、ふるさと島根定住財団が運営する、しまね移住情報ポータルサイト。

県内最大級の求人情報を掲載し、就職活動をサポートするほか、市町村紹介や住まいについて、各種支援制度や県内各所で行われるイベント情報など、島根県への移住を検討する際に役立つ情報が満載です。

移住に関する支援制度を網羅!

地元の人々がしまねのいいところを教えてくれる!

オンラインツアーや移住フェアなど、イベント情報がたくさん!

実際に移住した人の声をインタビュー動画で観られる!

住まいや仕事の情報がもりだくさん!

県内最大級の求人件数を掲載中。移住に際しての仕事探しについて詳しくはP.28をチェック!

くらしまねっと 検索

<https://www.kurashimanet.jp>



くらしまねっとの「Web履歴書」登録で利用できる!

UIターン無料職業紹介

「しまね登録」をした次は、さらに学歴や職歴、有する資格、自己PRを『Web履歴書』に登録しておきましょう!

ふるさと島根定住財団の経験豊富な専門スタッフが、会員のみなさんと県内企業の採用担当者との仲介役を務めます! 待遇や賃金など聞きにくいこともスタッフにおまかせ下さい。

★登録時、もしくはマイページにて無料職業紹介サービスを「利用する」にチェックをお忘れなく! 企業からのスカウトメールが届くかも!?

無料職業紹介の流れ

企業見学・面接

職場見学、カジュアル面談、面接日程などの調整を行います。職場の雰囲気や、実際に働く人の声を聞きたい方にオススメです。

求人情報の紹介

ヒアリングを元に、相談者に合う求人情報を紹介(企業とのマッチング)。『くらしまねっと』には未掲載の非公開求人があるかもしれません。

ヒアリング

移住時期や希望地域、職種などご要望について詳しくお伺いします。不安に思うこと、疑問点など、気になることはお気軽にご相談ください。

無料職業紹介のいいところ4つ



2

気になる求人をストックできる!

気になる求人情報は、「お気に入りリスト」に登録することが可能。一部でも条件に合っているならリストに追加しておくとも良いかも。



1

複数求人への一括応募ができる

『Web履歴書』にこれまでの経験や希望職種を入力しておくことで、複数の企業へ一括でアプローチできます。



4

希望条件に合った求人をリコメンド!

希望する条件に合った求人をサイト上で自動表示。過去の閲覧履歴も確認できます。



3

企業からスカウトメールが届く!

あなたの『Web履歴書』を閲覧した企業から、「くらしまねっと」を通してスカウトメールが届くことも。求人情報に興味があれば、あなたから応募することも可能です。

心で読む求人票

「どんな人が働いているの?」「どんな仕事をしているの?」「経営者はどんな人?」などにフォーカスし、定型どおりの求人票からは伝わらない、島根県の企業のリアルな表情を映し出す求人情報サイトです。



← P.28へ

くらしまねっとの求人検索

くらしまねっとには島根県最大級の求人数を掲載しています。島根での就職を考えている方は、まずはこちらで検索!



くらしまねっと 仕事検索 検索

<https://www.kurashimanet.jp/job/top>



STEP 04 移住する

引っ越しサービスを受けるには

- 対象 ①「しまね登録」に登録している方
- ②「基本情報」の必須項目を入力した方

対応業者 アート引越センター or サカイ引越センター

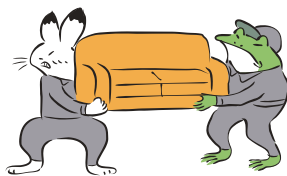
- ⚠️すでに引越し業者へお見積りを依頼済みの場合、ご利用いただけません。ご注意ください。
- ⚠️引越し費用の割引サービスを使うには、しまね登録が必要です。
- ⚠️引越し業者は変更になる場合があります。詳しくは「くらしまねっと」をご確認ください。

くらしまねっと 引越し 検索

<https://www.kurashimnet.jp/support/moving/>



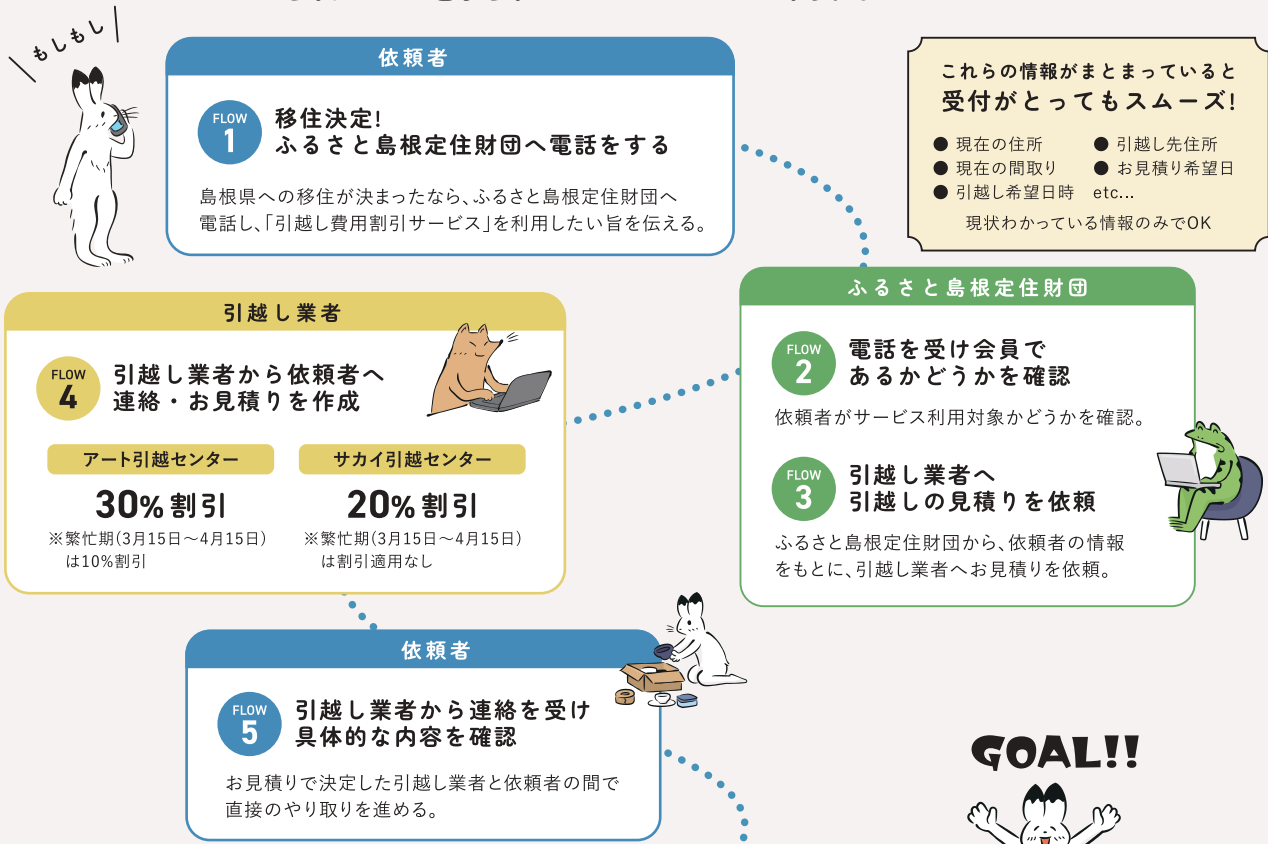
引越し割引サービスを使う



「しまね登録」に会員登録された方は、島根県外から島根県への引越しをするときに、ふるさと島根定住財団を通して引越し業者へお申込みいただくと、基本料金から割引されるサービスを受ける*1ことができます。

(*1)時期によって割引適用外の場合があります。

引越し割引サービスの利用フロー



移住・就職決定報告

島根県内への移住が決まった方、あるいは島根でのお仕事が決まった方は、くらしまねっとマイページよりご報告ください!



ノベルティプレゼント!



希望者には移住者交流会をご案内!

島根に行くのが難しい! という方には...



島根県への移住を検討する方に向けて、島根での暮らしや仕事などの情報、先輩移住者の声などをZoom配信でお届け。リアルな暮らしぶりをバーチャル体験して、島根を深く知り、より身近に感じていただくオンラインツアーです!



STEP 03 体験する

移住前に暮らしや産業を体験



情報収集、事前の相談と進んだのなら、今度は実際に来県して体験するステップを踏みましょう。短期～中期で島根に滞在しながら、気候や風土を知り、地域の暮らしぶりや人々との関わりを体験することで、移住後の生活がよりリアルに感じられることでしょう。

島根にはそんな体験を支援する施設やプログラムがあります。それらを活用してみませんか?

こちらもチェック!

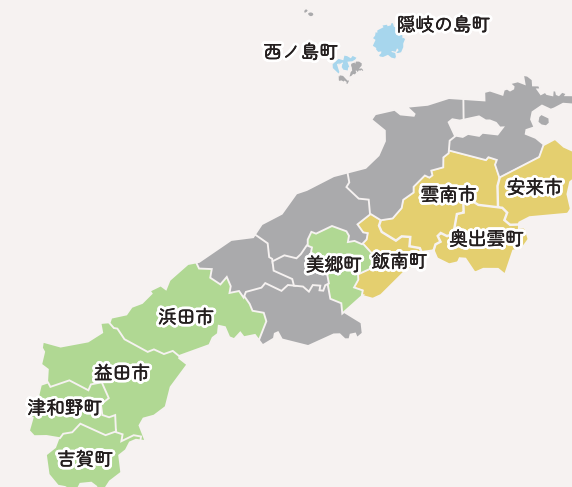
- P.14 UIターンしまね産業体験
- P.20-23 田舎ツーリズムレポート

お試し暮らし体験

「田舎で暮らしてみたいけど、いきなり生活するのは少し不安が...」という方にうってつけなのが、お試し暮らし体験。移住前に、まずは地域のこと、その地域の気候のこと、人々の暮らしぶりや関わり方などを、短期間暮らすことで知ることのできる体験プログラムです。

体験可能なエリア

- 出雲地方** 安来市、雲南市、飯南町、奥出雲町
- 石見地方** 美郷町、浜田市、益田市、吉賀町、津和野町
- 隠岐地方** 西ノ島町、隠岐の島町



オトナリ

雲南市にあるオトナリは、1Fがコワーキングスペース、2Fがゲストハウスとなっている施設。田舎で働きながら暮らす体験ができます。平日は管理人が常駐しているので、地域のアレコレを教えてもらえるかも。



三井野原ガーデン

奥出雲町八川にある滞在施設です。田んぼに囲まれたロケーションはとてものどかで理想の田舎暮らしを味わえるかも。夜になれば満天に輝く星空を眺められます。体験期間は1泊2日～。



尾田屋(一棟貸の宿)

浜田市熱田町の民間のお試し住宅。築80年の古民家をフルリノベした1日1組限定の貸別荘。テラスを出たら目の前は海! 移住検討者利用時はUIターン希望者滞在支援補助金を申請できます。(1人あたり1泊2000円 / 1家族上限2万円)

くらしまねっと お試し暮らし 検索

<https://www.kurashimnet.jp/home/trial>



お問い合わせは施設を担当する各市町で異なります。詳しくはWebサイトからご覧ください。空き状況やお問合せは各市町の担当課までご確認ください。

※光熱水費等は利用者が実費負担(使用時に施設管理者(市町村)に確認をお願いします)

FRESH GA I KU

しまね田舎ツーリズム

「しまね田舎ツーリズム」とは、農山漁村で地元の人々との交流を通じて、農林漁業体験やその地域の自然、文化、くらしに触れることです。米作り体験や田舎の宿泊を通じて、いつのまにか第二のふるさとになる。観光旅行とは異なり、感動がより深く、大きくなるのが「しまね田舎ツーリズム」。堅苦しいルールはなく、自分流で自然や交流を楽しむことができます。

ゆとりとつながりを感じる
心穏やかな暮らしは、
自分で創ることができる

自分らしい暮らしを言葉で表現するのは難しい。家族を持った今、安心と安全があれば嬉しいし、楽しい趣味や豊かな余暇があればさらに理想的だと思う。
例えば移住を検討したとき、何を大切にすのだろうか？今までは違う自分を求めるのか、それとも新しいライフスタイルが？しかし、それはニュアンスが少し違う気がする。
できれば、これまでの自分を肯定しつつ、築いてきた人生をさらに豊かにしていく方向性が望ましい。田舎での生活は新たな出発ではなく、ゆとりとつながりを深め、これまでの人生を充実させる選択肢だと感じる。



INAKA TOURISM

体験する
日本有数の天然炭酸泉で
体も心も緩めてほぐして

季節に合わせて「ぬるめ」に温度をコントロールしているから長くのんびり入るのが気持ちいい。
レトロクラシックでかわいい貸し切りのお風呂もラムネ温泉ならではのお楽しみ。

DATA
頓原(とんばら)天然炭酸温泉
ラムネ銀泉 <雲南エリア>
飯石郡飯南町頓原1070
☎ 0854-72-0880



POINT

宿を軸に、地域の
つながりを巡って

築150年を超える古民家を改修した3間23畳の和室で、1日1組限定の、のんびり気兼ねない宿泊ができる「星の宿り」。ここを拠点に、しめ縄づくりや農業体験、温泉と、充実した体験を楽しむ。ピザをつまみにオーナーと語り、その名のおとり手が届きそうな星空も特別なご馳走に。時間的・空間的な「ゆとり」と人と自然の「つながり」で島根・雲南エリアの豊かさを存分に感じる体験を。



心地よい空間を軸に、里山生活の
楽しさを提案してくれる宿

DATA
民泊と蔵カフェ 星の宿り <雲南エリア>
飯石郡飯南町頓原675
☎ 090-6708-7007



交流する

宿泊する

出逢いが思い出をカラフルにする。オンラインワンな民泊がオススメ。

体験する

その土地ならではの歴史的なモノコトを体験する。

私を感じた田舎ツーリズムの楽しみ方

交流する

その土地ならではの場所に出向き、ためらわず飛び込み話し、笑い、交流する。

交流する

体験する

まるでスイーツ！
もぎたてをそのまま丸かじり！

とうもろこし収穫体験 <雲南エリア>

もぎたて「生とうもろこし」の糖度はメロン以上！歯触りも良く甘くてジューシー！

農業体験・収穫体験は時期により内容が変わります。「星の宿り」で相談を！



体験する

出雲大社の大しめ縄と同じ素材！
ホンモノのミニチュアづくり

手づくりしめ縄体験 <雲南エリア>

稲わらを編むのは難しいけど、上手に出来た喜びは格別！作りたてのしめ縄の爽やかな香りも忘れられない体験に。



DATA
大しめ縄創作館
飯石郡飯南町花栗54-2
☎ 0854-72-1017



宿泊する

名前の通り、条件が折り合えば
見渡す限りの星空が



体験する

蔵を改装した
レトロモダンな貸し切りカフェ・バー



体験した人

シンタロヲフレッシュ



徳島県在住44歳、2児の父親。会社員でデザイナー・ビデオクリエーター。「大人をリイマジンする」をテーマにSNSやブログでライフスタイルを発信中。日々の不便や生きづらさを解消するモノ・コト、気分がプチ上がるデザインのよい日用品、家族と過ごす時間を拡張するアイデアや技術が大好き。

まだまだあるよ!

エリア別 オススメの宿



隠岐エリア

季節ごとの恵みに溢れた、島まるごと台所のような暮らし

自然栽培の野菜・米・麦・豆、それらを使った発酵食を楽しめます。魚釣り体験もできます。隠岐の自然と食を存分に満喫できる体験を!

DATA みやざきサービス
隠岐郡海士町大字海士4331
☎ 080-5379-5197



出雲エリア

パワースポットとしても有名な須佐神社の目の前の民泊

2階和室から望む昔ながらの景色。すぐ横を流れる川のせせらぎを聞きながら、時を忘れる体験を…

DATA すさのわ
出雲市佐田町須佐731-1
☎ 090-8317-3221



益田エリア

目の前の海は、ほぼほぼ“プライベートビーチ”

山陰のモンサンミシェルとして知られる宮ヶ島 衣毘須神社(えびすじんじや)のすぐそば。

DATA TERA-HOUSE (テラハウス)
益田市小浜町454
☎ 090-7776-0487



県央エリア

築90年の古民家をリノベーション 囲炉裏を囲む食のおもてなし体験

解放感いっぱいガーデニングキッチンでは、ジビエや地物野菜を使った美味しい料理づくりが体験できます。

DATA 農家民泊 三國屋
邑智郡美郷町都賀本郷97
☎ 0855-74-6122

おいで!しまね
しまね田舎ツーリズムポータルサイト

その他田舎ツーリズムの情報は
しまね田舎ツーリズムポータルサイト『おいで!しまね』をご覧ください。
<https://www.oideyo-shimane.jp/>



スペシャルコンテンツ

写真だけでは伝えきれない!

旅の様子は動画でもお楽しみいただけます。



FRESH No ME

著者の目、編集後記

こんな選択肢が 自分にもあるインパクト

観光地を巡り、ホテルに泊まるだけの旅行しか経験がなかった私には、この取材は驚きの連続だった。各地で出会った人々と語り、一緒にご飯を作り食べる。島根の田舎風景や星空、叙情的な文化背景、人と自然と文化へのつながり。「心の豊かさ」という文字情報をフィジカルに実感するこの「田舎暮らし体験」は、思った以上のインパクトだった。

ゆとりとつながりを感じながら田舎で暮らす選択肢。命を燃やし、日々を精一杯生きる場所は、本来自分で選ぶべきなのだろう。

梨の木原の宮脇夫妻とは、翌朝散歩をご一緒した。あの朝の時間、田畑や山々の緑、あふれる人となりを噛みしめて、こんなにも別れが寂しい滞在は初めてだったかもしれない。

人が文化をつくっている 島根の地を選んで暮らす人々

ラムネ銀泉、大しめ縄館のスタッフの方、星の宿りの前田さん、出会った人々がUターンやIターンで島根に移住し、能動的に「島根」を生きる場所として選んでいた。実際、多くの人々がここでの暮らしを選んでいるのだろう。心惹かれる、語るべきドラマを持つ人たち。

ほんの少しだけここでの暮らしを垣間見た私には、この土地がいかに魅力的かがわかる。島根と言えば出雲や松江が有名かもしれないが、東西に広がる島根には、都会の日常とは異なる、ゆとりとつながりに満ちた生活がある。同じ田舎はどこにもない。ここ、島根だからこそ味わえる日々が確かに存在する。

星の宿りの前田さんとパンチャリ。



なんでもない、知らない田舎道もぜんぶ非日常。



交流する

その土地の食文化を
作って味わう面白さ

体験する

旅慣れたベテランほど、料理が出来た状態で出されるよりも、自分で作りたいと願っている。実際に手を動かしてみると、歴史や文化をまるごと味わうクリエイティブな行為だと感じます。自分の色その土地とグラデーションになる不思議な感覚。作った後はもちろん一緒に食卓を囲みます。その時間もまたご馳走に。

INAKA
TOURISM



大田市の箱寿司(角寿司)

お祭りの時には欠かせない地元の味。昔は各家庭に箱寿司を作るための専用の木枠があり、お祭りなどの祝事の際には、当たり前のように箱寿司があったそう。一段にお米を一升つかうダイナミックな料理だが、これが実際に上手に作るのが難しい。味は抜群、甘さがちょうどいい具材と適度にプレスされた酢飯の、素材だが鉄板のマッチングがたまらない。鮮やかな錦糸卵、見た目も美しい。

体験する



最後の別れの瞬間まで おもてなしが続く宿



マンガやアニメで見たような、薪割りや五右衛門風呂、ゲストの趣向やその時に食べたいものに合わせて作られる料理とおしゃべりが心地よい時間をくれる「梨の木原」。ピザ窯もあり、蕎麦打ちもでき、季節の野菜や旬の果物を収穫する農業体験も。宮脇夫妻のおもてなしが詰まった「心が憩い、五感で楽しむ宿泊体験」。都会では決して味わえない最高の田舎体験。

宿泊する



DATA 田舎民泊 梨の木原 <県央エリア>

大田市久利町久利1370-1
☎ 0854-82-6870 (16時~19時)
☎ 080-1931-1482 (16時~19時)





学校・家庭・地域が一体となって 子どもたちを育む しまねの「ふるさと教育」



しまねの公立小中学校における特色ある取組として「ふるさと教育」があります。平成17年度からスタートしたこの取組は、県内全ての公立小中学校の全学年・全学級で推進されています。

地域の自然や歴史、文化、伝統行事や産業といった教育資源（「ひと・もの・こと」）を活かし、学校・家庭・地域が一体となって、ふるさとに誇りを持ち、心豊かでたくましい子どもを育むことを目的としています。

▶ ふるさと教育の定義

地域の教育資源（「ひと・もの・こと」）を活かした教育活動

▶ ふるさと教育が目指すもの

- 〈地域〉・地域住民のふるさとへの理解促進
 - ・地域を支える次世代の育成
- 〈学校〉・ふるさとへの愛着や誇りの醸成
 - ・地域に貢献しようとする意欲の喚起

ふるさと教育事例



雲南市立掛合中学校
地域資源を活用した「地域課題探究学習」を3年間の中学校生活を通して実施。その集大成として生徒によって企画・運営された「掛合町おこし大作戦」を開催。

浜田市立国府小学校
「ふるさと浜田のSDGsを考えよう」と題して、市の産業・文化に携わる人との交流等を通して、浜田を元気にするための提案を考え発表。問題解決のプロセスを方法知として学習。

邑南町立市木小学校
「ふるさと市木探検隊」として、歴史・伝統の残る市木地区について毎年実施。6年間かけて12か所巡り、学んだことを毎年保護者や地域の人々へ向けて発表している。

開かれた 学びの場となった 学校図書館



また、島根の公立小中学校の取り組みとして紹介したいのが図書館のあり方です。

島根県は公立小中学校及び高等学校において、平成21年度から子どもたちの読書活動推進を図るために学校図書を設置し「人のいる学校図書館」を実現しています。

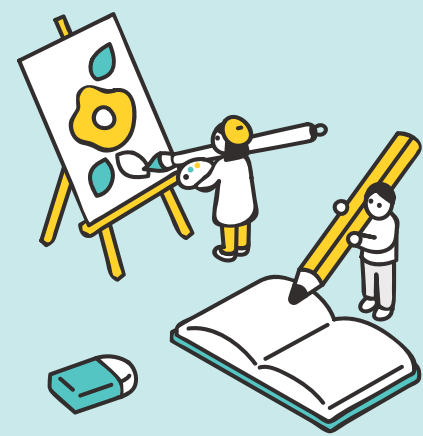
そして令和3年度から始まった「学校図書等による学びのサポート事業」により、本を介した心の居場所づくりや人間関係づくり、また個別の学習支援、知識や考えを広げる図書の支援など、司書の役割を広げ、子どもたち一人ひとりの関わりを大切にしたいサポートを行っており、学校図書館の可能性を大きく拓いています。

知っていますか？ 複式教育

生徒数が少ない場合に、数学年を1クラス編制する複式学級において、その特色に応じた学習方法で行われる教育が「複式教育」です。

実は島根の公立小中学校・義務教育学校の約3割は国指定のへき地校であり、公立小学校の約34%が複式学級を有しています。

学年をまたぐクラスに不安を持つ人が多くありませんが、少人数であるがゆえに、きめ細かい教育を受けられます。また、下級生は上級生の授業を耳にすることで、先々の授業への興味を持つようになり、それが日々の勉強の原動力につながるメリットがあります。



しまね 教育白書 Education

— 知っておきたいしまねの教育のこと —



移住を考えると、いろいろなことが気になると思います。

特に小さなお子さまのいるご家庭なら、移住後の幼児教育施設（幼稚園や保育所など）や、小学校や中学校、高校、さらには大学進学までのこと。

また、これらの環境や内容、必要となるお金のことなど。

島根県の教育などに関するアレコレをまとめてみました。

保育環境の充実と 幼児教育の推進

島根県が策定している「島根創生計画」で挙げられるのが、「保育環境の充実」と「幼児教育の推進」。保育の「質の向上」のため、市町村と連携し、保育所等の運営支援、保育士の確保・定着支援、保育所等の労働環境改善などに取り組んでいます。

同時に、「幼児教育の質の向上」も推進しており、研修を実施するなど幼児教育に携わる人材の資質向上を図っています。



幼児教育と小学校 教育を円滑にする ための「幼小連携・ 接続」を推進

幼児教育と小学校教育を円滑にするために行っているのが、「しまねの幼小連携・接続」というもの。

幼児期から児童期にかけて連続的に成長する子どもたちが、小学校生活に

適応して意欲的に過ごせるよう、幼児期の教育と小学校教育が相互理解を深め、子どもたちが生き生きと学ぶために必要な支援をしています。幼児期の学びを土台に、小学校以降の学びをスムーズに発展させることができるかとされています。

島根県の幼稚園、保育所、認定こども園は、多くが環境を活かしてのびのびと過ごせるようにしつつ、園によって独自のカリキュラムを用意し、子どもたちの育成にも力を入れています。気になる園は積極的に見学されることをおすすめします。



松江市

認定こども園 比津ヶ丘保育園
茶会を通して礼儀正しさが身に付く

45年超の歴史を持つ認定こども園。「健康で心豊かな思いやりのある子どもを育てる」方針で、日本文化や歴史の伝承に触れる大切さを尊重。定期的に茶道や日本舞踊、琴、和太鼓を取り入れています。

出雲市

認定こども園 光幼保園
木に囲まれ、触れ、自然とともに育つ園

浄土真宗本願寺派源光寺が背景にある認定こども園。特徴的な園舎は木をふんだんに使っていて、多くの玩具も木製。園児が走り回れるほど広い園庭には若木が植わり、井戸水を汲み上げるポンプや築山なども。自然を感じながら過ごせます。

江津市

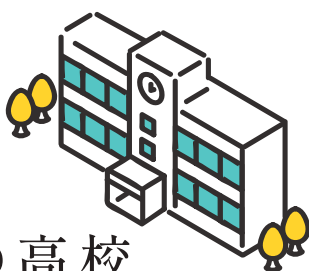
認定こども園 あさりこども園
大人もワクワクする子どもファーストの園庭

「人生の基礎づくりのおてつだい」を基本理念に、子ども一人ひとりの持つ個性を認め、個々の育ちに必要環境を用意。園庭は遊びの中で体験してほしい運動、経験が可能になるよう意識して作っているそうです。

パパとママへ耳寄り情報

乳幼児期から本に親しむのに最適な施設が、島根県立大学松江キャンパスにある「おはなしレストラン」。2万冊以上の絵本を取り揃えた図書館で、誰でも利用が可能。毎週日曜日には学生たちによる絵本の読み聞かせが行われるほか、季節に合わせた催しも実施されています。※貸出には登録が必要です。





教育環境が充実している島根の高校

自然豊かで歴史があり、文化や産業、温かな人間関係と地域社会。これらは全て教育における恵まれた環境に結びつきます。島根県はこの環境を活かして、学校のみならず、家庭・地域も一体となって魅力ある教育を推し進めています。また、世界にも通用する人材を育成するため、情報通信技術（ICT）機器を整備するなど、時代のニーズにも対応した教育に取り組んでいます。さらに特色のある学科等が揃っており、学びや目的に合わせた進学先を選ぶことができます。

島根にはこんな高校があります

島根県立隠岐島前高等学校

隠岐・中ノ島（海士町）にある高校。県内唯一の地域共創科では、地域での実践的・実際の学びを展開し、「地域・社会と共にある学び」を提供し、「グローバル人材の育成を目指しています。」



島根県立出雲高等学校

文科省のスーパーサイエンスハイスクールに指定されています。探究的な学習を行うことで発信力や論理的思考力を身に付け、地域・社会のリーダーとして貢献できる人材を育てます。



島根県立浜田水産高等学校

海洋技術科、食品流通科を擁しており、それぞれに専門性の高い学びがあります。日本海屈指の水産都市にあるため、水産・海洋教育を求めて全国から入学希望があることで知られています。



島根県立大社高等学校

創立120年を超える歴史と伝統のある高校。県内唯一の体育科があり、島根のみならず全国の体育指導者を数多く輩出。令和6年夏の全国高校野球大会では93年ぶりにベスト8進出を果たし、その名勝負には県内のみならず全国で感動を呼びました。



国際関係 国際コミュニケーション科	工業 機械科 電子機械科 電気科 電子科 情報技術科 機械・ロボット科 建築科 建築・電気科 建築都市工学科	普通 普通科 地域共創科
理数 理数科 探求科学科	水産 海洋システム科 海洋技術科 海洋生産科 食品流通科	農業 植物科学科 環境科学科 食品科学科 動物科学科 生物生産科 環境土木科 生物環境工学科 産業技術科
定時制課程 普通科 機械科 電気科 建築科	福祉 福祉科	商業 商業科 情報処理科 国際ビジネス科 情報システム科 マルチメディア科 総合ビジネス科
通信制課程 普通科	体育 体育科	総合学科
特別支援学校 普通科 保健医療科 産業技術科 美術工芸科 被服科		

大学の選択肢は少ないが、学べる選択肢が多い

島根県内に設置されている大学は、国立大学である島根大学と県立大学の島根県立大学の2校5キャンパスのみと、非常に数が少ないのが実情です。しかし、その分、学べる分野・学部を選択肢はとて多いのが特徴とも言えます。

国立大学法人 島根大学

1949年発足。通称・島大。2003年に旧島根大学と島根医科大学が統合し、現在に至ります。法文学部、教育学部、人間科学部、医学部、総合理工学部、材料エネルギー学部、生物資源科学部の7学部と大学院があります。

- ▶ 松江キャンパス
大学院(人間社会科学部研究科、教育学研究科、自然科学研究科)
- ▶ 出雲キャンパス
医学部、大学院(医学系研究科)

▶ 松江キャンパス

法文学部、教育学部、人間科学部、総合理工学部、材料エネルギー学部、生物資源科学部
大学院(人間社会科学部研究科、教育学研究科、自然科学研究科)

医療系が揃う 島根の専修学校

県内の専修学校は医療系が多いのが特徴。県立の高等看護学院をはじめ、国立病院機構附属の看護学校、歯科技術専門学校や総合医療専門学校、リハビリテーションと揃っています。多岐にわたる学科を持つビジネスカレッジや美容系、IT系、調理系の専門学校のほか国立高等専門学校も。専門性が高く、実践に即する学びの場がたくさんあります。

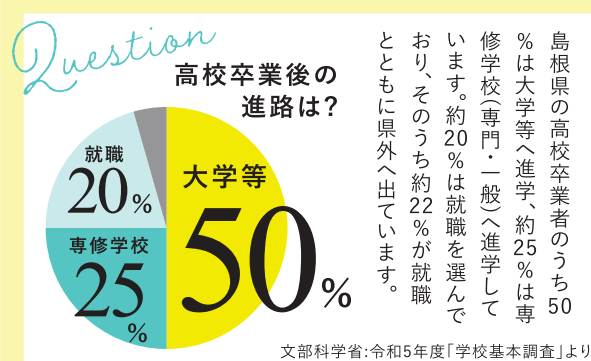
公立大学法人 島根県立大学

1993年創立。2007年に旧島根県立大学、島根県立島根女子短期大学、島根県立看護短期大学が統合して現在に至ります。国際関係学部、地域政策学部、看護栄養学部、人間文化学部、短期大学部から成り、大学院や助産学の別科もあります。

- ▶ 松江キャンパス
人間文化学部、短期大学部
- ▶ 浜田キャンパス
国際関係学部、地域政策学部、大学院(北東アジア開発研究科)
- ▶ 出雲キャンパス
看護栄養学部、大学院(看護学研究科)、別科(助産学専攻)

しまねの奨学金一覧

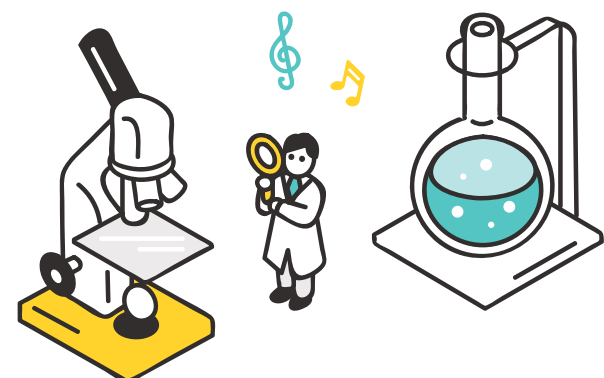
- ▼ 公的奨学金
 - ・公益財団法人島根県育英会
 - ・島根県高等学校定時制課程等就学奨励資金
- ▼ 医療系学生向け奨学金
 - ※返還免除制度あり
 - ・島根県医学生地域医療奨励資金
 - ・看護師等修学資金
 - ・島根県民医連
- ▼ 民間奨学金
 - ・一般財団法人マルチ報恩会
- ▼ 大学独自奨学金
 - ・島根大学
- ▼ 市町村奨学金
 - ・松江市(貸与型・給付型)
 - ・益田市(貸与型)



しまねからの大学進学を見据えて、ライフプランをしっかりと

島根では実家から大学へ通うのはレアケースと言われています。その要因は県内の4年制大学が2校しかないこと。さらに交通アクセスが悪いことも大きな理由です。仮に出雲から松江に進学したとしても、公共交通機関で通学するのはかなり大変だと言わざるをえません。県内ですら遠方となると通学は難しいでしょう。そうした理由から県外の大学に目が向きますが、いざれにしても一人暮らし、あるいは車を持つ・持たせる、という選択肢しか出てきません。つまり、島根で大学に通わせるためには、進学に掛かる費用や進学後に掛かる学費のみならず、子どもが大学に通う間に掛かってくる諸々の費用が大きくなりがちだと言えます。ご家族で移住する上で教育についても考えるなら、こういった諸費用についても同時に考える必要があります。先にご紹介した奨学金制度などの活用も含めて、しっかりとライフプランを練り、大きくなった我が子を送り出せるように備えていきたいですね。

県外在住の中学生が島根県の高校に入学、充実した3年間の高専生活を送れる「しまね留学」。将来、社会で生きるために必要な力を、豊かな自然や歴史・文化、温かい地域の方々に支えられながら育む、島根だからこそ提供できる教育環境が魅力です。





他にも、多くの企業の“心揺さぶる”ストーリーを掲載中！
ぜひ、サイトをご覧ください！

🔍 心で読む求人票 🔍 検索

<https://www.kurashimane.jp/kokoro-kyujinhyo/>

心で読む Pick up! 求人票

企業のストーリーを知ると、
企業の表情が見えてくる

定型どりの求人情報では伝えたくても伝わらない、島根の企業のリアルな表情を映し出す求人情報サイトが、ふるさと島根定住財団運営の「心で読む求人票」です。現在掲載されている全84社(2024年9月現在)の中から、6社をピックアップしました。

時代の先を行く“カッコいい”水産加工業を！ 浜田から世界へ羽ばたく企業をともに目指しませんか？



専務取締役 河上 清貴さん

県内最大の漁獲量を誇る浜田漁港のほど近くで、新鮮な素材を缶詰や干物、冷凍の刺し身、さらには煮付けやフライなどに加工し、県内のみならず全国各地に販売するほか、タイやシンガポールにも販路があり、世界に羽ばたくことを目標としています。そのためにも、産地の資源と都会の消費者を結ぶコーディネーターこそ水産加工業のあるべき未来だと考えていて、その実現のためにも楽しみながら共に前へ進める面白い人を求めています。

浜田市 製造業(水産加工業)
株式会社シーライフ

浜田漁港で水揚げされた素材をもとに各種加工品の製造・販売を行う。
また、新たな加工品の開発も進める。



所在地 島根県浜田市原井町907-2
TEL 0855-23-3105

Webで記事を読む ▶



仏壇や墓石だけじゃないことを知ってほしい 事業づくりを通して企業の未来を一緒に作りませんか？



専務取締役 吉田 忍さん

島根県を中心に仏壇・仏具の製造・販売、墓石事業を中心に、葬儀、介護のほかIT、不動産、学習塾経営と多角的に展開しています。事業領域が広い分、管理するところが多く、仕事も幅広いのが実情です。現在は40代の社員層が最も厚みのある状態なので、若い世代の人を強く求めています。特にいい意味でこだわりなく多方面で前向きに挑戦できる人、楽しんで仕事に取り組める人が望ましいですね。ぜひジョインして新しい風を吹かせてください。

益田市 医療、福祉
株式会社ひょうま

島根県益田市、浜田市、大田市、松江市をメインエリアに、広島県広島市で仏壇・仏具・墓石事業を行うほか、葬儀事業、介護事業など手広く展開中。



所在地 島根県益田市高津7-11-14
TEL 0856-22-4141

Webで記事を読む ▶



浄化槽を通して美しく持続可能な社会を作る 直接的な地域貢献に繋がる仕事に携わりませんか？



常務取締役 上里 昌生さん

邑南町・川本町・美郷町からなる邑智郡にて、浄化槽の点検・保守、し尿の汲み取りを行っています。
仕事の内容だけにネガティブなイメージを持たれがちなので、クリーンであることを徹底し、働く環境もホワイトになるよう整えています。残業ゼロ、完全週休二日制でワークライフバランスは非常に良いと自負しています。「地域住民の快適な暮らしを守る」「地域のきれいな水を守る」役割と使命に共感してくれるならば、ぜひ一緒に働きましょう！

川本町 サービス業
有限会社邑智郡浄化槽センター

邑智郡川本町を中心に浄化槽点検・保守、清掃、し尿の汲み取りといった環境ビジネスを行う。従業員がいきいきと働き続けられるよう、様々な取組も推進している。



所在地 島根県邑智郡川本町川下1313
TEL 0855-72-0761

Webで記事を読む ▶



安全で快適な暮らしを。 人々の社会基盤と、地域の未来を支える仕事。



業務企画部部长 細田 昌幸さん

1962年に創業して以来、地域に根ざした総合建設コンサルタントとして、各地の道路や河川、上下水道、港湾などの設計や整備を行っています。
専門性の高い分野ですが、知識の有無に関わらず意欲があり目標に向かって突き進む力がある人、特に地域貢献や防災等に興味があるという人を求めています。入社後の教育体制も拡充し資格取得や技術研鑽も全面的にバックアップしています。一緒に地域の未来を創りませんか？

松江市 学術研究、専門・技術サービス業
山陰開発コンサルタント株式会社

人々の生活に必要な道路や河川、上下水道、港湾など、国及び地方公共団体の技術的パートナーとして、地域に密着した総合建設コンサルタントとして社会資本整備の一翼を担う。



所在地 島根県松江市乃木福富町383-1
TEL 0852-21-0364

Webで記事を読む ▶



固定観念にとらわれない働き方を。 山陰から新風を巻き起こすメンバーを募集！



代表取締役社長 渡部 幸太郎さん

出雲市に本社を置き、島根県・鳥取県に28事業所を構え、世界ブランド「Panasonic(パナソニック)」の製品を中心とした卸売を主事業としながら、昨今高い関心が集まるウェルビーイングに関するサービスへの本格参入を進めています。
未経験者でも我々のビジョンに賛同して来てくれた方と一緒に、新しいものを世の中に生み出していきたいと考えているので、年齢・性別や業種に関係なく飛び込んできてください。

出雲市 卸売業、小売業
山陰パナソニック株式会社

Panasonic製品を主とする卸売、設計・施工・監理及び保守、住宅系商材の提案、大型施設や公共施設への電材の納入、システム提案やカー用品の提案・納入・施工管理、ドコモショップの運営、デジタルヘルスケアサポートアプリの開発・運営を行う。



本社所在地 島根県出雲市渡橋町416
TEL 0853-21-3112

Webで記事を読む ▶



子育て世代が働きやすい職場環境。 地域の人へ医療と安心を届ける。



安来第一病院院長 杉原 勉さん

島根県安来市や周辺市町の地域医療を担うべく時代に必要不可欠な保健医療福祉サービスを提供するとともに、安来第一病院を中心に様々な医療・福祉施設をひとつのエリアに集約する取組を進めています。同時に高齢化が進み在宅医療が増加していくことを見据え、様々なことにチャレンジしたいと考えており、そのためにも働き手を必要としています。子育てしながら働きやすい環境を整えているので、少しでも興味があればぜひ見学に来てください。

安来市 医療、福祉
社会医療法人 昌林会

安来第一病院で地域医療を提供するほか、介護老人保健施設や介護医療院、訪問看護、在宅介護支援、グループホーム、デイサービスなどの福祉施設を運営。



所在地 島根県安来市安来町899-1
TEL 0854-22-3411

Webで記事を読む ▶



Information

しまねの情報 発信中!

ふるさと島根定住財団では、Webサイトだけでなく各種SNSでさまざまな情報をお届けしています。定住財団や市町村、関係機関によるイベント情報、そして移住支援情報。さらに島根の風景や移住者が綴る「しまね暮らし」など、幅広く発信しています。「もっと島根に浸かりたい」「島根をもっと身近に感じたい」という方は、こちらもぜひご覧ください。



Facebook
くらしまねっと



X
くらしまねっと



LINE公式アカウント
しまね登録



Instagram
暮らしまね



note
しまね移住Project



Youtube
しまね移住Project

島根県へUターンした女性たちが日々の暮らしやおすすめのスポットなど、島根の「すてき」を写真や動画でお届け!

島根にUターンした女性たちが「しまね暮らし」を紹介する「しまね女子ブログ」を公開中です!

島根を体感できる映像や移住者へのインタビュー、オンラインイベントのアーカイブなど、しまね移住に関する動画を公開しています!



しまねUターン情報誌 ビーンズ
2024年10月号・お便り募集

Vol. 68
October 2024

アンケートにご協力ください。

Q1 今号の内容について5段階で評価してください。(✓をつけてください)

	面白かった 5	まあまあ 面白かった 4	普通 3	あまり面白く なかった 2	全く面白く なかった 1
P4-13 移住の先輩インタビュー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
P14 UIターンしまね産業体験	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
P15-19 しまね移住 STEP BY STEP	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
P20-23 しまね田舎ツーリズムレポート	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
P24-27 しまね教育白書	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
P28-29 心で読む求人票	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
P30 しまね移住おもしろエピソード	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q2 あなたが移住を決める際に重視するポイントは何ですか? (複数回答可)

- 仕事 住まい 医療 子育て 教育
支援制度 交通 生活環境 都市へのアクセス
その他()

Q3 ご質問・ご感想など、ご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

しまねの特産品
プレゼント

アンケートにご回答いただいた方の中から抽選で

国産だったんそばの実入り

「だったんそばの実
ドレッシング」を
プレゼント!

20
名様



島根県飯南町に本店を置く出雲そばの名店「奥出雲そば処 一福」が開発したドレッシング「だったんそばの実ドレッシング」です。希少な国産のだったんそばの実を配合したドレッシングは他にはない濃厚な味わいが特徴。醤油ベースの甘辛和風味ということもあり、お子さまから大人まで美味しく楽しめます。サラダはもちろんのこと、しゃぶしゃぶや焼肉のつけダレとしてもおすすめです。

応募締切

2024年12月31日(火)まで

※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

応募方法

① はがきで応募

左側のアンケートはがきを切り取り、アンケートへの回答と必要事項を記入して投函してください。

② WEBで応募

右のQRコードを読み取り、プレゼント応募フォームにアクセスし、アンケートへの回答と必要事項を入力の上、ご応募ください。

<https://forms.gle/q58ZemV9jLjUXrBc8>



商品に関するお問合せ先

株式会社 一福
E-mail: ippuku01@gmail.com

プレゼント応募に関するお問合せ先

公益財団法人ふるさと島根定住財団 UIターン推進課
〒690-0003 島根県松江市朝日町478-18 松江テルサ3階
TEL:0852-28-0690 E-mail: ueturn@teiju.or.jp

えっ、こんなことある?!
しまね移住
おもしろ
エピソード

移住して新たに島根県民になった方々に聞き取り調査!
「えっ、島根ってそういう場所なの!?!」
「島根の人ってこういう人多くない!?!」と思うことや、
「あー、島根に染まったわー」と思う瞬間など、
面白いエピソードを集めてみました!

つい、東京の感覚で



島根に引っ越してきて初めて電車に乗るときのこと。
先頭車両に乗るのが好きな私は、いつもの習慣でホームの端で待っていました。しばらく待つとホームのアナウンスが聞こえ、こちらへ向かう電車が見え始める。ウキウキで待っていたのですが、先頭車両は私のところまで届かず、遙か遠く...。
2両編成だということをすっかり失念していました。



島根に染まった?

他県からUターンしてきて数年。最近になって気づいたのですが、つい出雲弁が口をついて出るように。
思わず独り言で「やれんのう」と言ってしまう。先日は頭の中で「やれんわ」と。これでも立派な島根人でしょうか?

※「やれん」は、出雲弁だと「叶わない」「叶いそうもない」「できそうもない」といった意味。石見弁だと「できない」「やっかい」「苦しい」といった意味になります。

えっ、優しすぎ



隠岐へ遊びに行ったときのこと。乗ろうと思っていた内航船いそかぜが、まさかの出港! 慌てて走ったものの間に合わず「乗り遅れた」と思ったら、私のために船が戻ってきました。そして、今度は内航船フェリーどうぜんに乗るため、急いで港に向かったのですが、またもや間に合わず。私の目の前でハッチが閉じてしまい「今度こそ乗り遅れた...」と諦めかけたその時、なんと閉まらずのハッチが私のためにオープン! 隠岐の人たち、優しすぎませんか!?

デカイノキター!!



リモートワーク中、窓の外にチラッと影。誰か来たのかな? と思って立ち上がる。巨大な鹿がぬーっと通過。突然の事態に思考停止しました。

お返し無限ループ

何かを頂くとお返りする文化が根強い島根。軽い気持ちでお渡しすると、なぜか何倍にもなって返ってくる。それにお返しするとさらにお返し... という事態になりがち。いい塩梅が難しいです。



しまねへのUIターンを相談する窓口はこちら

島根県内市町村移住相談窓口

- | | | |
|---|---|---|
| <p>松江市
定住企業立地推進課
TEL 0852-55-5215</p> | <p>出雲市
縁結び定住課
TEL 0853-21-6629</p> | <p>安来市
やすぎ暮らし推進課
TEL 0854-23-3059</p> |
| <p>雲南市
うんなん暮らし推進課
TEL 0854-40-1014</p> | <p>奥出雲町
定住産業課
TEL 0854-54-2524</p> | <p>飯南町 (ごめたで飯南町)
飯南町定住支援センター
TEL 0854-76-2520</p> |
| <p>浜田市
定住関係人口推進課
TEL 0855-25-9511</p> | <p>益田市
連携のまちづくり推進課
TEL 0856-31-0173</p> | <p>大田市
まちづくり定住課
TEL 0854-83-8172</p> |
| <p>江津市
地域振興課 (定住推進係)
TEL 0855-52-7926</p> | <p>川本町
一般社団法人かわもと暮らし
TEL 0855-74-2110</p> | <p>美郷町
美郷暮らし推進課
TEL 0855-75-1212</p> |
| <p>邑南町
地域みらい課
TEL 0855-95-1117</p> | <p>津和野町
つわの暮らし推進課
TEL 0856-74-0092</p> | <p>吉賀町
企画課
TEL 0856-77-1437</p> |
| <p>海士町
還流DX特命担当(総務課)
TEL 08514-2-2446</p> | <p>西ノ島町
政策企画課
TEL 08514-6-0028</p> | <p>知夫村
地域振興課
TEL 08514-8-2211</p> |
| <p>隠岐の島町
地域振興課
TEL 08512-2-8570</p> | | |

移住相談窓口

東京 しまね移住相談窓口 (UIターン・学生支援)

TEL **0120-60-2357** 全日10:00~18:00 (最終受付17:00)
最寄り駅 東京メトロ「日比谷」駅 / 都営地下鉄「日比谷」駅 / JR「有楽町」駅
〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-2-14 紫ビル5階



東京 ふるさと回帰支援センター 島根県移住相談窓口

TEL **090-1683-6613** (直通) 火~日10:00~18:00
最寄り駅 東京メトロ「有楽町」駅 / JR「有楽町」駅
〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8階



大阪 しまね移住相談窓口 (UIターン・学生支援)

TEL **0120-70-2357** 平日9:00~16:30 (昼休憩12:00~13:00)
最寄り駅 大阪メトロ「南森町」駅
〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満3-13-18 島根ビル2階
「島根県大阪事務所」内



広島 しまね移住相談窓口 (UIターン・学生支援)

TEL **0800-100-6435** 平日9:00~17:00 (昼休憩12:00~13:00)
最寄り駅 広島電鉄「立町」駅
〒730-0032 広島県広島市中区立町1-23 ごうぎん広島ビル6階
「島根県広島事務所」内



公益財団法人 ふるさと島根定住財団

松江事務局 UIターン推進課

TEL **0852-28-0690**
〒690-0003
島根県松江市朝日町478-18 松江テルサ3階

石見事務所

TEL **0855-25-1600**
〒697-0034
島根県浜田市相生町1391-8 シティパルク浜田2階
いわみぶらっと内

しまね移住支援サテライト東京

TEL **03-6281-9800**
〒100-0006
東京都千代田区有楽町1-2-14 紫ビル5階

料 金 受 取 人 払 郵 便

松江中央局
承認
2124

差出有効期間
2024年
12月31日まで

切手不要

郵便はがき

6 9 0 - 8 7 9 0

受取人

島根県松江市朝日町478-18
松江テルサ3階

公益財団法人

ふるさと島根定住財団

「BeanS プレゼント」係



お名前(フリガナ)	年齢	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性 才 <input type="checkbox"/> その他
ご住所 〒		
電話 () -		
E-mail		

※ご記入いただいた個人情報は、UIターン情報誌「BeanS」に掲載のプレゼント発送及びUIターン促進と県内定住を目的とした当財団の事業以外の目的には使用致しません。